

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社ドウシシャ

コード番号 7483 URL <http://www.doshisha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 正治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役(財務経理兼貿易業務担当) (氏名) 藤本 利博

TEL 06-6121-5669

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	69,246	6.7	6,872	44.2	6,766	39.9	3,869	59.6
21年3月期第3四半期	64,876	—	4,766	—	4,835	—	2,424	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	213.21	—
21年3月期第3四半期	133.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	48,760	37,378	75.8	2,036.17
21年3月期	42,746	34,320	79.5	1,871.25

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 36,956百万円 21年3月期 33,963百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
22年3月期	—	22.50	—		
22年3月期(予想)				22.50	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	8.8	7,200	43.6	7,100	38.4	4,050	58.3	223.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	18,687,818株	21年3月期	18,687,818株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	537,866株	21年3月期	537,485株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	18,150,235株	21年3月期第3四半期	18,150,723株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、通期連結・個別業績予想は、平成21年10月30日に発表したものから修正いたしました。詳細は、添付資料の4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の減収幅が減少するなど一部に回復の兆しが見られるものの、雇用情勢や所得環境が好転するには至っておらず、生活防衛意識の高まりから個人消費の低迷や生活必需品における市場価格の下落が進むなど、依然として厳しい消費環境が続いております。

このような状況下、当社グループにおきましては、消費者ニーズを捉えた低価格帯商品や新企画商品、新しい売場づくりの提案強化や、新規得意先の開拓などに積極的に取り組んだことで、全体として堅調に推移いたしました。

結果といたしましては、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高69,246百万円(前年同期比106.7%)、売上総利益18,033百万円(前年同期比113.7%)、営業利益6,872百万円(前年同期比144.2%)、経常利益6,766百万円(前年同期比139.9%)、四半期純利益3,869百万円(前年同期比159.6%)と増収増益となりました。

なお、平成21年6月4日開催の当社取締役会において決議いたしました㈱スティラジャパン解散に伴う追加損失見込額約240百万円については、当第3四半期連結累計期間において当初の見込み通り推移しております。

<ビジネスモデル群別売上高>

期 別 ビジネスモデル群別	前第3四半期連結累計期間 (平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (平成21年12月31日)			前連結会計年度 (平成21年3月31日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(百万円)	(%)
有名ブランド(FB)ビジネスモデル	18,223	28.1	18,560	26.8	101.9	22,946	28.4
プライベートブランド(PB)ビジネスモデル	27,560	42.5	28,795	41.6	104.5	35,726	44.1
ギフト(NB加工)ビジネスモデル	16,313	25.1	18,968	27.4	116.3	18,611	23.0
その他	2,778	4.3	2,921	4.2	105.1	3,613	4.5
合計	64,876	100.0	69,246	100.0	106.7	80,898	100.0

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

「有名ブランド(FB)ビジネスモデル」におきましては、鞆関連では、これまで取り組んできた売れ筋ブランドのアウトレット企画や低価格帯カジュアルブランド商品の販売が堅調に推移いたしました。しかし、時計につきましては、前年のリーマンショックの影響による販売不振が一巡したものの、販売額は前年同期比微増にとどまり、また、アクセサリ関連につきましても前年同期の水準まで回復には至っておりません。商品構成を香水中心から健康・美容関連商品へシフトし、コスメティック事業部から改称したヘルス&ビューティ事業部におきましては、低単価・高機能化粧品の販売が伸びました。

「プライベートブランド(PB)ビジネスモデル」におきましては、A&V関連では、エコポイント制度や地上デジタル放送への切り替えも後押しして業績が伸びました。家庭用品関連では、節約志向の高まりも影響して自社開発のステンレスマグボトルの販売が好調に推移し、家電関連でも、品揃えを強化したデザイン加湿器やアロマ芳香器、雑貨専門店のOEMが販売を伸ばしました。また、昨年の秋には低価格のLED電球の販売を開始いたしました。

「ギフト(NB加工)ビジネスモデル」におきましては、ギフト関連では、お歳暮ギフトの販売が順調に進み、これまで取引のなかった中堅スーパーや新たな業態への販路も拡大し、順調に販売を伸ばしております。食品・酒類関連では、中核となる輸入ワインやスパークリングワイン、低価格が武器の第3のビールの販売が伸びました。また、昨年の秋にはアルコール分0%のビール風味飲料の販売を開始いたしました。

結果、売上高におきましては、有名ブランド(FB)ビジネスモデルが18,560百万円(前年同期比101.9%)、プライベートブランド(PB)ビジネスモデルが28,795百万円(前年同期比104.5%)、ギフト(NB加工)ビジネスモデルが18,968百万円(前年同期比116.3%)と堅調に推移しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は37,153百万円（前連結会計年度31,329百万円）となり、5,824百万円増加いたしました。これは主に、商品及び製品296百万円、受取手形及び売掛金9,905百万円、繰延税金資産277百万円の増加及び現金及び預金4,633百万円の減少によるものであります。

(2) 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は11,606百万円（前連結会計年度11,417百万円）となり、189百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券203百万円の増加によるものであります。

(3) 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は8,893百万円（前連結会計年度8,079百万円）となり、813百万円増加いたしました。これは主に、買掛金1,499百万円、未払法人税等937百万円の増加及び1年内返済償還予定の社債2,250百万円の減少によるものであります。

(4) 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は2,488百万円（前連結会計年度346百万円）となり、2,141百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金2,125百万円の増加によるものであります。

(5) 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は37,378百万円（前連結会計年度34,320百万円）となり、3,057百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上による増加3,869百万円及び配当金支払による減少816百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は7,406百万円となり、前連結会計年度末より4,953百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度末にて非連結子会社であった連雲港花茂日用品有限公司を新たに含めたことにより、47百万円の現金及び現金同等物を受け入れております。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果減少した資金は3,154百万円（前年同期比1,663百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6,644百万円、仕入債務の増加額1,516百万円による増加及び売上債権の増加額9,862百万円、法人税等による支払額2,335百万円による減少によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果減少した資金は923百万円（前年同期比342百万円減）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入300百万円による増加及び定期預金の預入による支出620百万円、有価証券の取得による支出186百万円、有形固定資産の取得による支出156百万円、投資有価証券の取得による支出194百万円による減少によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果減少した資金は887百万円（前年同期比2,991百万円減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,187百万円による増加及び社債の返還による支出2,250百万円、配当金の支払いによる支出802百万円による減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の通期連結業績予想につきましては、平成21年10月30日発表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成22年1月29日公表の「平成22年3月期 通期の業績予想の修正（連結・個別）に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理に関する事項

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費の算定方法は、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定による概算額で計上しております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算出しております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断は、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度で使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

⑤ 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

当該債権と債務の額及び取引金額に差異がある場合には、差異の金額の重要性が乏しい時には、調整を行わないで親会社の金額に合わせて相殺消去しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,726,996	12,360,069
受取手形及び売掛金	21,120,884	11,215,472
有価証券	186,000	—
商品及び製品	6,930,910	6,634,481
繰延税金資産	346,575	69,269
短期貸付金	95,726	65,126
その他	835,802	1,061,674
貸倒引当金	△89,040	△76,613
流動資産合計	37,153,856	31,329,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,369,515	6,323,058
減価償却累計額	△2,528,333	△2,373,269
建物及び構築物(純額)	3,841,181	3,949,788
土地	5,391,621	5,391,621
その他	798,060	604,345
減価償却累計額	△530,146	△451,915
その他(純額)	267,913	152,430
有形固定資産合計	9,500,717	9,493,841
無形固定資産		
のれん	32,982	47,118
その他	110,958	67,648
無形固定資産合計	143,941	114,767
投資その他の資産		
投資有価証券	946,060	742,693
長期貸付金	19,535	5,755
再評価に係る繰延税金資産	189,777	189,777
繰延税金資産	207,102	248,898
その他	832,407	851,374
貸倒引当金	△232,936	△229,635
投資その他の資産合計	1,961,945	1,808,864
固定資産合計	11,606,604	11,417,472
資産合計	48,760,460	42,746,953

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,459,163	2,959,800
1年内返済予定の長期借入金	62,500	1,335
1年内償還予定の社債	—	2,250,000
未払法人税等	2,029,892	1,092,219
役員賞与引当金	76,000	42,600
賞与引当金	7,600	19,650
その他	2,257,989	1,713,870
流動負債合計	8,893,146	8,079,475
固定負債		
長期借入金	2,125,000	—
繰延税金負債	45,695	45,231
退職給付引当金	135,815	135,955
その他	182,310	165,782
固定負債合計	2,488,821	346,969
負債合計	11,381,968	8,426,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993,003	4,993,003
資本剰余金	5,994,487	5,994,487
利益剰余金	27,262,654	24,213,135
自己株式	△1,015,191	△1,014,476
株主資本合計	37,234,954	34,186,150
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18,783	△54,916
繰延ヘッジ損益	39,202	99,759
土地再評価差額金	△277,309	△277,309
為替換算調整勘定	△21,622	10,191
評価・換算差額等合計	△278,513	△222,275
新株予約権	76,550	38,349
少数株主持分	345,501	318,284
純資産合計	37,378,492	34,320,508
負債純資産合計	48,760,460	42,746,953

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	64,876,489	69,246,693
売上原価	49,012,913	51,213,207
売上総利益	15,863,576	18,033,485
販売費及び一般管理費	11,096,896	11,160,578
営業利益	4,766,679	6,872,906
営業外収益		
受取利息	9,300	4,339
受取配当金	9,606	20,473
債務勘定整理益	30,597	28,933
デリバティブ評価益	18,947	—
その他	67,569	63,624
営業外収益合計	136,022	117,370
営業外費用		
支払利息	24,542	20,618
支払手数料	8,412	7,352
デリバティブ評価損	—	9,252
為替差損	21,158	164,434
その他	13,364	22,460
営業外費用合計	67,478	224,117
経常利益	4,835,223	6,766,159
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	20,842
特別利益合計	—	20,842
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	28,736
リース解約損	—	28,247
特別退職金	—	13,606
固定資産除却損	—	6,538
投資有価証券評価損	17,833	1,005
関係会社株式評価損	47,721	—
デリバティブ解約損	442,497	—
過年度消費税等	—	64,682
特別損失合計	508,052	142,816
税金等調整前四半期純利益	4,327,170	6,644,185
法人税、住民税及び事業税	1,757,598	2,941,811
法人税等調整額	114,132	△218,330
法人税等合計	1,871,731	2,723,480
少数株主利益	31,221	50,963
四半期純利益	2,424,217	3,869,741

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,327,170	6,644,185
減価償却費	239,316	250,866
のれん償却額	14,135	14,135
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,860	33,400
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,423	△12,050
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△211,090	15,727
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,939	△139
受取利息及び受取配当金	△18,907	△24,812
支払利息	24,542	20,618
デリバティブ評価損益 (△は益)	△18,947	9,252
投資有価証券評価損益 (△は益)	17,833	1,005
関係会社株式評価損	47,721	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,698,419	△9,862,213
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,347,203	△346,014
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,104,195	1,516,614
未払消費税等の増減額 (△は減少)	75,524	135,367
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△410,560	△38,022
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	301,743	755,192
その他	48,946	65,576
小計	△2,521,342	△821,310
利息及び配当金の受取額	17,643	23,569
利息の支払額	△24,542	△20,735
法人税等の支払額	△2,290,139	△2,335,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,818,381	△3,154,462
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△800,000	△620,000
定期預金の払戻による収入	300,000	300,000
有価証券の取得による支出	—	△186,000
有形固定資産の取得による支出	△81,173	△156,751
有形固定資産の売却による収入	18,782	—
投資有価証券の取得による支出	△9,471	△194,273
関係会社株式の取得による支出	△60,000	△8,761
子会社の清算による収入	—	13,158
貸付けによる支出	△28,150	△83,925
貸付金の回収による収入	93,386	25,986
その他の支出	△18,264	△26,343
その他の収入	4,440	13,688
投資活動によるキャッシュ・フロー	△580,450	△923,222

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,000,000	—
長期借入れによる収入	—	2,187,500
長期借入金の返済による支出	△12,523	△1,335
社債の償還による支出	△62,500	△2,250,000
自己株式の取得による支出	△2,624	△715
リース債務の返済による支出	△6,540	△21,045
配当金の支払額	△813,205	△802,336
その他	989	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,103,595	△887,932
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,852	△35,064
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,271,383	△5,000,681
現金及び現金同等物の期首残高	10,875,188	12,360,069
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	47,608
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,603,805	7,406,996

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

「生活関連用品の卸売事業」の売上高、営業利益は、全セグメントの売上高の合計額、営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

「生活関連用品の卸売事業」の売上高、営業利益は、全セグメントの売上高の合計額、営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。